

愛知芸術文化センター
施設管理システム設計・開発
業務仕様書

第1章 概要

1 業務名

愛知芸術文化センター施設管理システムシステム設計・開発業務（以下「本業務」という。）

2 導入の目的

施設管理システムは、芸術劇場、美術館ギャラリー及びアートスペースの貸館業務(※)に利用されている。このたび現行システムのサポートが切れることから、次期システムの構築、データ移行を行い、2026年4月1日から新システムを本格運用することを目的とする。

施設の利用に係る貸館サービスの向上、施設予約管理業務の効率化による職員負担の軽減及び維持管理費用の軽減を図るため、ASPまたはSaaS方式により、カスタマイズを必要としない機能を有するパッケージソフトの導入を行うこと方針としている。

(※) 予約管理、料金計算、請求収納処理、利用許可書、請求書、領収書等の帳票の発行等

3 業務対象期間

(1) 導入に係る作業 契約締結日から2026年3月31日まで

(2) 保守・運用 2026年4月1日から

※(1)が本業務の契約となる。公募型プロポーザル方式による企画提案による契約とする。

※(2)は本業務と別契約（契約期間は未定）となるが、本業務に付随する業務として(1)の受託者による随意契約を予定している。

※企画提案においては、(1)(2)の全ての費用を見積もること。ただし(2)については2026年4月1日から2030年3月31日までの4年間を想定した費用とすること。

（ただし実際に4年間となるとは限らない）

4 システム導入基本方針

(1) 本業務は、公益社団法人全国公立文化施設協会が認証もしくは公立文化施設での稼働実績のあるパッケージソフトを基本として導入を行う。

(2) 本システムは、インターネットを利用したクラウドシステムとし、施設内のサーバの設置は不要なものとする。

(3) 本業務の性格上、本業務に参加を希望するものは、参加表明を行う時点で、日本産業規格「JIS Q 15001個人情報保護マネジメントシステム—要求事項」に基づくプライバシーマークを取得していなければならない。

(4) 本業務の性格上、本業務に参加を希望するものは、参加表明を行う時点で、ISMS（ISO/IEC 27001）認証、およびISMS（ISO/IEC 27017）クラウドセキュリティ認証を取得していなければならない。

5 納品物

この業務の納品物を以下に記載する。この内容に準じた納品物を電子データで指定の期日までに納入すること。なお、この業務を受託した業者が想定する納品物において、確認すべき事項がある場合は、事前に協議すること。

表 納品物一覧表

納品物
・機能要件一覧 ・帳票一覧 ・運用保守サービス定義書 ・研修テキスト ・操作説明書（管理者向け、業務担当者向け）

6 記載外事項・疑義

- (1) 仕様書に記載のない事項は、発注者と受注者が協議し決定の上、対応すること。
- (2) 仕様書の記載内容に疑義が生じた場合は、発注者と受注者が協議し決定の上、対応すること。

第2章 システム要件

1 基本事項

- (1) 利用者側の OS、ブラウザの利用状況に合わせ、必要となるソフトウェアのバージョンアップは受注者の負担において行うこと。
- (2) 最新の OS、ブラウザに対応すること。
- (3) 対象施設及び設備等の変更等の各種操作が、プログラミング等の専門知識を必要とせず、発注者が実施できること。

2 環境要件

- (1) 本システムで導入するソフトウェアは ASP または SaaS 方式で運用するものとする。
- (2) 本業務に用いるデータセンターは、以下の要件を満たすこと。
 - ①日本国内に立地していること。
 - ②耐震又は免震構造であり、東日本大震災級の地震に耐えうること。
 - ③代替機等を常備するなど、重大障害時（サーバ機能停止等）にもシステム停止がないよう、冗長性を確保すること。
 - ④停電時等による電力供給の停止に備え、機器が適切に停止するまでの間に十分な電力を供給する容量の予備電源を備えること。
 - ⑤不正な侵入を防止するため、適正な入退室管理を行うこと。

3 機能要件

(1) 機能要件

システムに求める機能要件については、別紙 機能要件確認票のとおりとする。

(2) OS、ブラウザ

	施設管理者	施設利用者	
利用端末	・ パソコン	・ パソコン	・ スマートフォン
OS	・ Microsoft Windows8 以降	・ Microsoft Windows8 以降 ・ MacOS X	・ iOS ・ Android OS
ブラウザ	・ Microsoft Edge ・ Google Chrome ・ Firefox	・ Microsoft Edge ・ Google Chrome ・ Firefox ・ Safari	・ Microsoft Edge ・ Google Chrome ・ Safari

4 対象施設

システム導入の対象施設は、以下のとおりとする。

本業務を実施するにあたっては、「愛知県芸術劇場及び愛知県文化情報センター催事室」と愛知県美術館展示室」でそれぞれ異なる管理者が保守契約を行って運用していくことを想定して、実施するものとする。

会館名	室場名	備考
愛知県芸術劇場	大ホール	客席規模(大規模、中規模)による分類あり
	コンサートホール	
	小ホール	
	大リハーサル室	
	中リハーサル室	
愛知県文化情報センター催事室	催事室 A	会議利用のみ
	催事室 B	会議利用のみ
	催事室 C	会議利用のみ
	催事室 D	会議利用のみ
	催事室 EF	会議利用のみ
	催事室 G	会議利用・展示利用
	催事室 H	会議利用・展示利用
	催事室 X	会議利用・展示利用
愛知県美術館展示室	展示室 A	
	展示室 B	
	展示室 C	
	展示室 D	
	展示室 E	
	展示室 F	
	展示室 G	全面利用の場合
	展示室 G1	分割利用の場合
	展示室 G2	分割利用の場合
	展示室 H	
	展示室 I	
	展示室 J	全面利用の場合
	展示室 J1	分割利用の場合
	展示室 J2	分割利用の場合
	審査保管室 1	全面利用の場合
	審査保管室 1 西 1 / 2	分割利用の場合
	審査保管室 1 東 1 / 2	分割利用の場合
	審査保管室 2	全面利用の場合
	審査保管室 2 北 1 / 2	分割利用の場合
	審査保管室 2 南 1 / 2	分割利用の場合

5 システム構築

受注者は、本システムの導入にあたり、以下の作業を実施するものとする。

項番	作業項目	仕様
1	要件・仕様打合せ及び整理	システム設定の基準を発注者に説明し、設定条件を決定する。
2	マスタデータの登録	システムを使用する上で必要な施設に関する情報(料金体系、貸出時間割、休館日、備品等)や施設の種類、使用目的の種類、減免の種類等についてシステムに登録する。 なお、登録項目は受注者の指定する様式にしたがって発注者が作成する。
3	オーダーメイド帳票作成	機能要件表に従って、オーダーメイドにより帳票を作成する。
4	既存システムからのデータ移行	・利用者登録については、発注者が提供する CSV データにより受注者が登録する。登録した利用者 ID については既存システムの利用者 ID との対照表を作成する。 ・予約データ（請求・収納データ含む）については発注者が登録する。 ・利用者登録用 CSV データの授与は、設計・開発用に 1 回、本運用開始の 1 か月前頃に 1 回の計 2 回とする。 ・発注者が行う予約登録作業は、受注者が行う利用者登録の完了後速やかに計 2 回実施する。
5	動作確認・運用テスト	システムを利用する機器でシステムが問題なく動作することを確認する。発注者が動作確認や検証等をした際に生じた問題点・疑問点についての説明やシステムの対応を行う。

第3章 運用及び保守要件

1 基本事項

- (1) 本システムは 24 時間 365 日稼働するものとする。ただし、システムのメンテナンス等を実施する場合はこの限りではない。
- (2) システムのメンテナンスを実施するために一時的にシステムを停止する際は、事前に発注者の了承を得るとともに、システム利用者に対して、事前にシステムトップページでその内容及び期間を予告周知し、システムメンテナンス中も可能な限りその旨を周知するものとする。
- (3) システム停止などの緊急対応は 24 時間 365 日とする。運用・保守サービスを提供するにあたって SLA (Service Level Agreement) を締結する。サービスレベルの設定項目は以下のとおりとし、定期報告を実施すること。サービスレベルについては、目標設定型とし、ペナルティ・インセンティブの設定は行わないが、基準値を満たさない場合は、その理由、改善策を報告すること。

NO	分類	サービスレベル項目	内容	条件（目標値）
1	可用性	稼働時間	利用者向けサービスの提供時間。 ただし、メンテナンス時間は除く。	24時間365日
2		稼働率	サービスの利用が可能な時間のうち、実際に利用可能であった時間の割合	99.5%以上 （計画停止、運用保守受託者の起因によらない事由を算出から除く）
3		計画停止	機器やデータメンテナンスのためのサービス停止	深夜時間帯（0時から翌朝8時まで）に実施 7日前以上の事前通告
4	障害対応	目標復旧時間（RTO）	障害などによる連続してサービスが停止する時間	12時間以内 （運用保守受託者の起因によらない事由を除く）
5		目標復旧時点（RPO）	復旧するデータのバージョン（障害発生時から遡り、どの時点のデータを復旧するか）	1日以内
6		障害時の復旧体制	障害を検知した場合の復旧体制	24時間365日体制 障害検知後、直ちに復旧対応
7	性能	オンライン応答時間（通常時）	利用者環境における一般的な操作の応答時間	実効速度 10Mbps での応答時間：3秒以内 達成率：80%以内
8		オンライン応答時間（ピーク時）	最も多重度が高まるタイミングにおける一般的な操作の応答時間	実効速度 10Mbps での応答時間：10秒以内 達成率：80%以内 タイムアウト：0（ゼロ）
9	サポート	技術的問い合わせ対応	技術的問い合わせ対応	月～金曜日（休日及び 年末年始（12月29日～1月4日）を除く） 対応時間：午前9時～午後6時
10		緊急メール受付	サービスの動作不良にかかわる緊急メール受付	24時間365日 最低限の初動：1時間以内

2 セキュリティ要件

- (1) 愛知県情報セキュリティポリシーに準拠すること。
- (2) 個人情報保護に配慮すること。
- (3) 発注者端末（管理者側）では、固定グローバル IP を持っていれば、IP フィルタリングによって職員側機能を施設外の一般のインターネット回線からは利用できないように設定することができること。
- (4) 施設利用者画面については、SSL または TLS 等の暗号化通信を行うこと。

第4章 その他

1 特記事項

- (1) 次期システム移行に係るデータ移行について
 - ・将来的に再構築や次期システムへ移行する場合、システムからのデータ抜き出し作業は、この業務委託範囲に含めること。
 - ・データの抜き出しの形式は、CSV、XML 等、標準的な形式で抜き出すこと。
- (2) 研修
 - ・操作説明書、研修テキスト等を用意し、適切なスケジュール、方法で研修を行うこと。
 - ・通常の業務手順だけでなく、システムを円滑に運用できるように説明等を十分に行うこと。尚、説明については書類だけではなく実機を用いた研修とすること。
 - ・研修時のシステム利用環境については、端末も含め発注者が用意する。